

第4章 東葉高速鉄道

平成20年2月11日(月)晴れ、3連休の最後の日、日本で2番目に運賃が高いと言われている東葉高速鉄道つたい歩きに挑戦する。当初は2月9日(土)予定であったが、この日は午後から雪情報であったので断念する。また、2月10日(日)も道路等に9日に降った残雪が予想されたためパスする。しかし、本日も日陰の道路等には残雪があったが。



東葉勝田台駅 村上駅

自宅を9時半過ぎに出、中央林間9時54分の電車で代々木上原經由大手町に向かう。大手町から東西線で乗り換え東葉勝田台駅を目指す。運良く大手町から10時53分発の快速があり、西船橋(11時18分)經由東葉勝田台まで移動することができた。東西線は葛西辺りから西船橋にかけメトロではなく地上を走っていたので驚いた。東葉勝田台駅には11時55分に到着。京成線が隣にあった。東葉勝田台駅から村上方面が分からず、何人かに尋ねてやっと村上駅の方向を見つける。太陽が頭上にあり東西南北の方向が一切分からなかったこともある。加えて、東葉高速鉄道は随所で地下に潜っており、また、新しい鉄道のため鉄道に沿った幹線道路がなかった。それで非常に鉄道つたい歩きに骨が折れた。つくばエクスプレス線以来である。村上駅には12時16分到着。駅前にはイトーヨーカー堂があった。それからボウリング場もあった。12時32分、新大橋桜並木(八千代ふるさと50景)通りを過ぎると八千代市民会館があった。それにしても本日は春の訪れを感じる一日であった。桜の枝も何となくふっくらした感じであった。12時40分、一橋セミナー前を通過。12時47分、八千代中央駅到着。



八千代中央駅 八千代緑ヶ丘駅

日陰の道路には残雪があった高架した線路沿いを歩き、東葉高速線最大の駅のように思える八千代緑ヶ丘駅には **13時32分** 到着。駅とジャスコが陸橋を通じて一体化されていた。駅前にある鮮やかな彫刻が印象的であった。また、駅前には栄光ゼミナールもあった。ジャスコで食事にしようと散策したが、減量の支援に優しい店がなく断念する。**14時10分**、レンガ造りの駅舎である船橋日大前駅に到着。



船橋日大前 北習志野駅

14時20分 デイリーヤマザキ (船橋市坪井町) に入り菓子パンを購入し、昼食とする。ここから、北習志野にかけ鉄道が地下に潜っているため歩きに苦勞する。数人に聞きながら進む。**14時30分**、日大薬学部前を通過。間もなく行くと北習志野商店街通りに出る。北習志野駅前が賑やかなので驚いた。2年前に新京成線を歩いた時にはこの商店街があるとは知らなかった。北習志野駅には **14時50分** 到着。新京成線と東葉高速線が隣接してあった。東葉高速線は地上には駅舎はなく、地下への階段スペースがあるのみであった。つくばエクスプレス線の南流山駅のようなものであった。**14時58分**、新京成線の高根木戸3号の踏切を渡る。



飯山満駅 東海神駅

ここから飯山満（はさま）駅までも鉄道が地下に潜っており神経を費やす。数人に尋ねながら進む。15時31分、飯山満駅に到着。ここから東海神駅までも大半が地下に潜っており、本日最大の神経を費やす。東葉高校前を歩き、東葉高速線と大きく離れる。16時吹上交差点で現在位置を確認する。この近郊は総武線つたい歩き等で来た記憶があった。吹上交差点の高台から東船橋駅が左にあった。前方には船橋駅があった。どぶ川に沿った路を歩く。意外にも自然が残っていたので驚いた。16時20分、300m位先に高架した東葉高速線も見つけ安堵する。16時32分、桜並木のある川に沿った遊歩道を歩く。16時35分、さくら橋を渡る。地図を広げて東海神駅を探す。神の思し召しか偶然にも東海神駅（16時57分）が地図を広げた目と鼻の先にあった。このようなラッキーな駅踏破は栗橋駅や袋井駅踏破以来である。17時10分、京成線の海神駅に到着。17時28分、浅間神社前を通過。先日の日比谷線で金刀比羅宮前を通過。昨年初孫の安産を祈願した神宮・大社の縁のある神社に偶然にも接し最高の幸せの気分になった。西船橋駅には17時40分到着。ここからJR線を利用して家路を目指す。中央林間から自宅まで歩いてため、自宅には20時到着。本日の営業キロは16.2Km、万歩計は44,618歩だった。本日でやっと4,300Kmを突破することができた。



夜と昼の西船橋駅